

# マイナ自治体アンケート

# カード出速普及に不満

## 保険証巡り困惑広がる

共同通信の市区町村アンケートでは、首長の大半がマイナンバーカードに関する事務負担を重いと訴え、政府が拙速にカード普及を推し進めたことへの不満の声も聞かれた。来年秋予定の健康保険証廃止については4割超が延期や撤回を求めており、医療関係者にも困惑が広がる。

【一面に本記】

環境には慣れない業務がのしかかる。政府は今月8日、11月末までの総点検完了を目指し、マイナンバーとひも付けたデータに調りがないかどうか洗い出すよう要請した。

障害者手帳情報の統合を求められた京都市の担当者は「相当な作業量が発生し、人海戦術で対応せざるを得ない可能性がある」。

甲信越地方の市担当者は「そもそも自分の情報がどうじまでも付いているのかなど、繋げていない住民も多い」と話す。政府の説明不足を批判した。

◎人海戦術  
政府は「ほぼ全国でいた」（和歌山県御浜町）、「マイナボイント事業で情報が遅く、混乱が生じた」（栃木県小山市）と負担の重さを強調した。

※回答市町村数=468

資格確認書発行の事務負担	20%
誤登録や個人情報漏えいなどをカードを巡るミス対応	18
医療機関での混乱など地域医療への影響	16
システム障害や災害時の対応	15
カード紛失者への再発行手手続きの事務負担	7
住民の苦情対応	6
マイナ保険証登録の事務負担	4
住民に対するマイナ保険証のメリット説明	4
特に不安はない	2
その他	7

## 表層深く

◎超高齢社会  
「廃止時期を区切らず、しあらばは従来保険証と併用で使いやすくなるを運べるようにするべきだ」。神奈川県鎌倉市の「章平クリニック」の湯浅章平院長（64）は保険証廃止の政府方針に異議を唱える。マイナカードと一体化した「マイナ

の基本的な理解が進んでいない」と話す。政府の説明不足を批判した。

8/12 稲田

章平クリニックの左湯浅前は設置された保険証読み取り機=3日、神奈川県鎌倉市



診ではない」と指摘。今は目立ったトラブルはないが、利用者の増加に伴い問題が生じのではないかと案じる。

医療法人でつくる全国保

険医団体連合会（東京）の

調査では、各地の医療機関

で、読み取り不具合により

「無理扱い」とする患者

が続出。本来とは異なる窓

口負担割合が表示される事

例も起きていた。

関連事務は自治体が担う。

これにも「かえって事務負

担が増えると予想される。

「シタルとアナログを併存させたほうがいい」（埼玉県秩父市）と紙の保険証存続を求める声が上がった。

5月以降、別の医療機

報や公金受取口座が登録さ

れたり、証明書のコンビニ

交付サービスで他人の住民

情報を写しが発行されたり

れば、証明書のコンビニ

交付サービスで他人の住民

情報を写しが発行されたり

れば、証明書のコンビニ

交付サービスで他人の住民

情報を写しが発行されたり

◎不備感  
「いつした状況で、多くの保険証の読み取り機を5月に導入。1日当たり高齢者ら約40人が訪れるが、マイナ保険証の利用は数人ほどだ。湯浅院長は「超高齢社会ではデジタル化に付けていくばかりではない。受け入れる人ばかりではない。受

市町村では保険証廃止による地域医療への影響を不安心する。アンケートでは高知県安芸市は「医療機関の窓口は混乱が危惧される」と回答。熊本県阿蘇市は「早急に廃止するより市民や医療機関の混亂を招く」

◎表面化  
高知県安芸市は「医療機関の窓口は混乱が危惧される」と回答。熊本県阿蘇市は「早急に廃止するより市民や医療機関の混乱を招く」と訴えた。

調査の方法 全1741市  
区町村長宛てにEメール、インターネットを通じて質問票を送付した。主に自治体がオンラインの回答フォームに直接入力する方式で受け付けた。8月3日に締め切り、1466人から回答を得た（回答率84・2%）。回答した人数を分県別に算出した。47都道府県知事にも同じ質問票を送り、全員が回答した。